

入場無料・事前申込不要

上智大学公開セミナー

カメルーンの民間説話に見るアフリカの心性

マリ＝テレーズ・メンゲ（文化人類学）

中央アフリカカトリック大学（カメルーン）教授

2017年6月20日（火）15:15～16:45

11号館405教室

使用言語：フランス語（通訳なし）

民間説話はアフリカ社会において、恭順、誠実、愛、善良さ、正義、歓待、連帯、慈しみ、親切、知性など、尊ぶべき価値への導入の役割を果たしている。それらの価値は、社会における個人の行動を方向づける倫理の基礎となっている。説話は単に子供に対する教育的意味を持つだけでなく、社会人として生きるすべを伝える。したがってアフリカの民間説話からは、社会のなかのあらゆる問題の根源や、摩擦の解決方法、共同体における平和の再構築の知恵などを読み取ることができる。カメルーンの民間説話を実際に読みながら、こうしたことを、参加者の皆さんと確かめてみたい。

キャンパスマップはこちら↓

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya

主催：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C)研究課題番号 16K02608 研究課題名「民間説話に見るアフリカ中・西部の心性分析と語りの教育効果の検証」研究代表者上智大学文学部永井敦子

共催：上智大学教育イノベーションプログラム「共生社会に資する国際協力・国際機関への人材育成プログラムの展開」

